

キヤノンマーケティングジャパン株式会社 2024年度第2四半期 決算説明

2024年7月24日

取締役常務執行役員 蛭川 初巳

- 本資料では、億円単位未満の端数は四捨五入により表示しております。
- 本資料で記述されている業績予想及び将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

■ 決算のポイント	P.3
■ 業績サマリー	P.4、7
■ 営業利益分析	P.5、8
■ 業績 セグメント概要	P.6、9
■ 業績 セグメント情報	P.10～13
■ セグメント別 製品・サービス売上	P.14～15
■ 業績予想サマリー	P.16
■ 業績予想 セグメント概要	P.17～19
■ 業績予想 セグメント情報	P.20～21
■ 主要製品売上・台数	P.22
■ 自己株式の公開買付けについて	P.23
■ 参考資料	P.26～41

それでは、2024年第2四半期決算と業績予想についてご説明致します。

このアジェンダに沿って説明を進めて参ります。

2024年12月期 第2四半期 業績概要

- ・前年同期比 増収・増益。
- ・ITソリューションの売上は対前年+21%と高い成長を実現。
- ・純利益は第2四半期、半期の過去最高を更新。

2024年12月期 業績見通し

- ・エンタープライズセグメントで好調なITソリューション事業を背景に売上を50億円上方修正。
- ・2025年の売上目標6,500億円を1年前倒して2024年での達成を目指す。

トピックス

- ・自己株式の公開買付け（22,000,000株）を行うことを決定。

3ページ目は、決算のポイントです。

2Qは、対前年で増収、増益となりました。ITソリューション事業は引き続き好調に推移しており、対前年プラス21%と高い成長を実現することができました。また、エーアンドエーの株式譲渡に伴い特別利益を計上したこと等から、純利益は第2四半期、半期の過去最高を更新することができました。

年間の見通しについては、エンタープライズセグメントで好調なITソリューション事業を背景に売上を50億円上方修正しました。

今回の修正により、2021年に長期経営構想を発表した際に、2025年の目標として掲げていた全社の売上6,500億円と、ITソリューション事業の売上3,000億円を、1年前倒し、年内の達成を目指します。この目標を達成しますと、既に達成して上方修正をしている営業利益500億円、ROE8%と合わせて、2025年の経営指標全てを達成することになります。

また、本日開催の取締役会において、自己株式の公開買付けを行うことを決定致しました。こちらについては、最後に大里からご説明致します。

業績サマリー 第2四半期(4月～6月)

✓ 純利益は第2四半期の過去最高を更新

(単位：億円)

	2023年 2Q	2024年 2Q	前年同期比較	
			金額	率
売上高	1,480	1,617	+137	+9%
売上総利益	(33.7%) 498	(32.3%) 522	(△1.4%) +23	+5%
営業利益	(8.0%) 118	(7.6%) 122	(△0.4%) +4	+4%
経常利益	(8.4%) 124	(8.1%) 130	(△0.3%) +6	+5%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	(5.6%) 82	(6.6%) 106	(+1.0%) +24	+29%

4ページ目は、2Qの業績サマリーです。

先ほどお伝えした通り、2Qは、対前年で増収、増益となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は、100億円を超え、第2四半期の過去最高を更新しました。

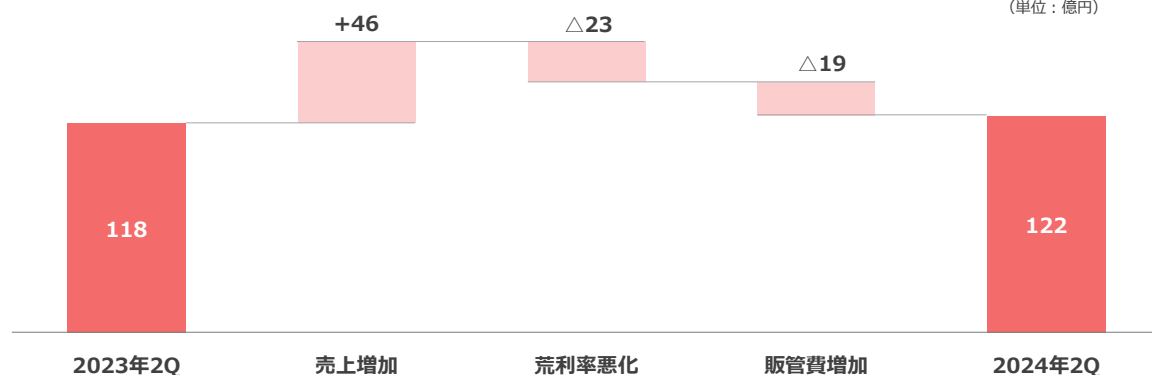
売上は、昨年10月にグループ入りしたT C Sの売上が加わったことや、ITソリューション事業が引き続き好調に推移していること等により、対前年9%増の1,617億円となりました。

営業利益は、売上増加に伴う荒利の増加により、対前年4億円増加の122億円となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、対前年24億円増加の106億円となりました。

営業利益分析 第2四半期(4月～6月)

(単位：億円)



荒利率悪化

- ・ コンシューマセグメント、エンタープライズセグメント、エリアセグメントにおいて荒利率が悪化

販管費増加

- ・ IT費用 +4億円
- ・ のれん等償却費 +9億円
- ・ その他販売費 +6億円

5ページ目は、2Qの営業利益分析です。

売上の増加に伴い荒利が46億円増加しております。

荒利率については、コンシューマセグメントで前年同期に新製品の発売があり、その反動が出たことや、エンタープライズセグメントやエリアセグメントでPCの売上が増加したこと等により悪化し、23億円減少しております。なお、PC自体は収益性が低いものの、PCをきっかけとして様々なサービスや保守・運用等、収益性の向上に繋がる提案は継続しております。

販管費については、のれん等償却費の増加や、基幹システムの刷新等によりIT費用が増加したこと等により、19億円増加しております。

なお、第2四半期の販管費の詳細は27ページの「販管費の内訳」をご参照ください。

業績 セグメント概要 第2四半期(4月～6月)

(単位：億円)

	2023年 2Q		2024年 2Q		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
コンシューマ	337	34	340	31	+3	△3
エンタープライズ	529	40	606	45	+77	+5
エリア	567	42	571	44	+4	+2
プロフェッショナル	102	9	109	14	+7	+5
その他	△55	△7	△9	△12	+46	△5
合計	1,480	118	1,617	122	+137	+4

※「その他」には、セグメント間取引消去とシェアードサービス事業、各セグメントに配分していない全社費用等が含まれます。

※2024年より、「エリア」セグメントの一部販売チャネルの組織を、「コンシューマ」セグメントへ移管しております。これに伴い、各セグメント間で2023年実績の組替を行っております。

6ページ目は、2Qのセグメント別の実績概要です。

売上は、全てのセグメントで増収となりました。

また、3月29日にグループ入りしたプリマジェストの売上が加わったことで、その他セグメントも増収となりました。

営業利益はコンシューマセグメントで減益となりましたが、

エンタープライズセグメント、エリアセグメント、プロフェッショナルセグメントで増益となりました。

なお、のれん等償却費の影響により「その他」が減益となっておりますが、プリマジェストの業績は順調に推移しております。

セグメントごとの詳細については、この後ご説明致します。

業績サマリー 第2四半期累計(1月～6月)

✓ 純利益は半期の過去最高を更新

(単位：億円)

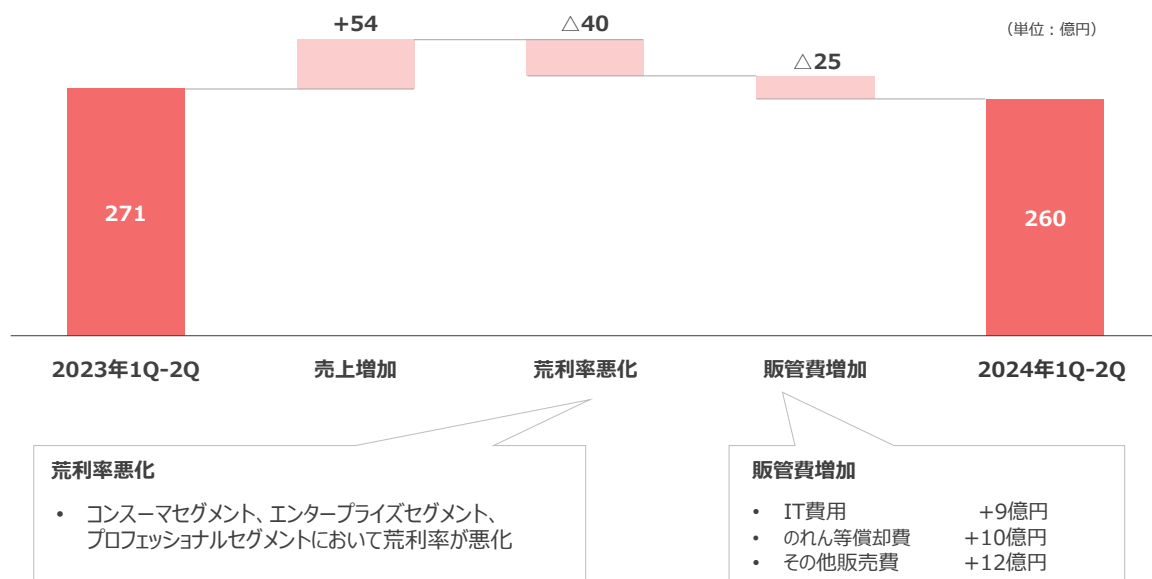
	2023年 1Q-2Q	2024年 1Q-2Q	前年同期比較	
			金額	率
売上高	3,028	3,189	+161	+5%
売上総利益	(33.7%) 1,020	(32.4%) 1,034	(△1.3%) +14	+1%
営業利益	(8.9%) 271	(8.2%) 260	(△0.8%) △11	△4%
経常利益	(9.2%) 279	(8.5%) 270	(△0.7%) △9	△3%
親会社株主に帰属する 中間純利益	(6.2%) 187	(6.3%) 201	(+0.2%) +15	+8%

7ページ目からは、累計の実績です。

2024年上期は、ITソリューション事業の好調が継続していること等により増収となりましたが、荒利率の悪化や、販管費の増加により、営業利益は減益となりました。

一方、エーアンドエーの株式譲渡に伴う特別利益を計上したことにより、親会社株主に帰属する中間純利益は増益となりました。純利益は200億円を超え、四半期に加え半期についても過去最高を更新しました。

営業利益分析 第2四半期累計(1月～6月)



8ページ目は、上期の営業利益分析です。

売上の増加に伴い荒利が54億円増加しております。

荒利率については、コンシューマセグメントで前年同期に新製品の発売があり、その反動があったことや、プロフェッショナルセグメントでヘルスケア事業の構成比が高まったことにより、荒利率が悪化しております。なお、ヘルスケア事業は、SIサービスを中心とした事業を行っており、SEの費用等を販管費ではなく、原価に組み込むため、プロフェッショナルセグメント内のプロダクションプリンティングや産業機器よりも荒利率が低くなっております。

販管費については、のれん等償却費の増加に加え、基幹システムの刷新等によりIT費用が増加したことや、プリマジェストのグループ入りに伴う費用等により「その他直接費」等が増加したことにより、25億円増加しております。

なお、第2四半期累計の販管費の詳細は28ページの「販管費の内訳」をご参照ください。

業績 セグメント概要 第2四半期累計(1月～6月)

(単位：億円)

	2023年 1Q-2Q		2024年 1Q-2Q		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
コンシューマ	663	66	641	52	△22	△14
エンタープライズ	1,075	99	1,196	100	+121	+1
エリア	1,165	89	1,169	96	+4	+7
プロフェッショナル	220	29	249	32	+29	+3
その他	△95	△11	△65	△19	+29	△8
合計	3,028	271	3,189	260	+161	△11

※「その他」には、セグメント間取引消去とシェアードサービス事業、各セグメントに配分していない全社費用等が含まれます。

※2024年より、「エリア」セグメントの一部販売チャネルの組織を、「コンシューマ」セグメントへ移管しております。これに伴い、各セグメント間で2023年実績の組替を行っております。

9ページ目は、上期のセグメント別の実績概要です。

売上は、コンシューマセグメントで減収となりましたが、エンタープライズセグメント、エリアセグメント、プロフェッショナルセグメントで増収となりました。

営業利益は、コンシューマセグメントで減益となりましたが、エンタープライズセグメント、エリアセグメント、プロフェッショナルセグメントで増益となりました。

業績 セグメント情報 コンシューマ

- ✓ 売上高は、ITプロダクト等の増加により、増収
- ✓ 営業利益は、高付加価値製品の売上減少に伴う荒利の減少により、減益

(単位：億円)

	2Q実績 (4-6月)			累計実績 (1-6月)		
	2023年	2024年	対前年	2023年	2024年	対前年
売上高	337	340	+1%	663	641	△3%
営業利益	34	31	△10%	66	52	△21%
利益率	10.2%	9.1%	△1.1%	9.9%	8.1%	△1.8%

※2024年より、「エリア」セグメントの一部販売チャネルの組織を、「コンシューマ」セグメントへ移管しております。これに伴い、各セグメント間で2023年実績の組替を行っております。

■コンシューマ製品 (対前年伸び率)

		1Q実績	2Q実績
レンズ交換式デジタルカメラ	(台数)	△31%	△14%
インクジェットプリンター	(台数)	△8%	△4%
インクジェットプリンターカートリッジ	(金額)	△9%	△6%

続いて10ページ目からは、セグメント別の実績をご説明致します。

まずはコンシューマセグメントのご説明です。

2Qの売上は、レンズ交換式デジタルカメラやインクジェットプリンターは減少したものの、ITプロダクトが好調に推移したこと等により、対前年1%増の340億円となりました。営業利益は、レンズ交換式デジタルカメラやインクジェットプリンターの売上減少に伴う荒利の減少により、対前年3億円減少の31億円となりました。

(レンズ交換式デジタルカメラ)

レンズ交換式デジタルカメラについては、前年同期に新製品発売による売上の増加があり、その剥落により、販売台数が減少し、対前年マイナス14%となりました。

交換レンズについては、EOS Rシリーズへの移行が促進されたことで、RFマウントへの買い替えが進んだこと等により、売上は増加しました。

(インクジェットプリンター)

インクジェットプリンターについては、市場の縮小等により、台数は対前年マイナス4%となりました。

インクカートリッジについては、プリントボリュームの減少等により、売上は減少しました。

(ITプロダクト)

ITプロダクトについては、高性能PCやPC周辺機器の販売が引き続き増加し、売上は大幅に増加しました。

業績 セグメント情報 エンタープライズ

- ✓ 売上高は、「キヤノン製品他」は横ばいだったものの、「ITソリューション」が好調に推移したことにより、増収
- ✓ 営業利益は、売上増加に伴う荒利の増加により、増益

(単位：億円)

	2Q実績 (4-6月)			累計実績 (1-6月)		
	2023年	2024年	対前年	2023年	2024年	対前年
キヤノン製品他	145	145	△0%	292	296	+1%
ITソリューション	383	460	+20%	783	900	+15%
売上高計	529	606	+15%	1,075	1,196	+11%
営業利益	40	45	+13%	99	100	+2%
利益率	7.5%	7.4%	△0.1%	9.2%	8.4%	△0.8%

■ (ご参考) 主要関係会社実績

キヤノンITソリューションズ

	2Q実績		増減率	2Q累計実績		増減率
	2023年	2024年		2023年	2024年	
売上高	313	376	+20%	628	708	+13%
営業利益	29	36	+24%	68	76	+12%

キヤノンITソリューションズ受注高・受注残高 (対前年伸び率)

	1Q実績		2Q実績	
	2023年	2024年	2023年	2024年
受注高	+1%	+13%	+1%	+13%
受注残高	△7%	△10%	△7%	△10%

データセンター事業以外の受注高は四半期での過去最高を更新

データセンター事業以外の2Qの受注残高は四半期での過去最高を更新

※2023年10月より、スーパーストリーム株式会社を、キヤノンITソリューションズへ合併しております。これに伴い、キヤノンITソリューションズで2023年実績の組替を行っております。

11ページ目は、エンタープライズセグメントのご説明です。

2Qの売上は、「キヤノン製品他」は横ばいだったものの、「ITソリューション」が好調に推移したことにより、対前年15%増の606億円となりました。

営業利益は、売上増加に伴う荒利の増加により、対前年5億円増加の45億円となりました。

(キヤノン製品他)

「キヤノン製品他」については、複数の大型案件があったことにより、オフィスMFPの台数は増加しました。レーザープリンターの台数は、前年同期に大型案件があり、その剥落に加え、一部の案件が3Q以降に後ろ倒しになったことにより、減少しました。オフィスMFPの保守サービスについては、オフィスにおけるプリントボリュームが減少したことにより、売上は微減となりました。レーザープリンターカートリッジについては、特定業種向けの販売が堅調に推移し、売上は増加しました。

これらの結果、「キヤノン製品他」全体の売上は横ばいとなりました。

(ITソリューション)

ITソリューションについては、金融業向け及び製造業向けのSI案件が好調に推移したことや、文教向けPCの大型案件があったことに加え、T C Sのグループ入り等により、売上は増加しました。これらの結果、「ITソリューション」全体の売上は、対前年プラス20%となりました。

【キヤノンITソリューションズ実績／受注高・受注残高】

主要関係会社のキヤノンITソリューションズの売上は、対前年20%増の376億円となりました。営業利益は、売上増加に伴う荒利の増加により、対前年7億円増加の36億円となりました。

受注高は、製造業向けのSI案件が好調に推移したことや、文教向けPCの大型案件があったこと等により、対前年プラス13%となりました。

なお、データセンター事業以外の受注高は、四半期での過去最高を更新しました。

また、受注残高については、SI案件が好調に推移したことやPCの大型案件があったものの、大型のデータセンター案件の売上への切替等により、対前年マイナス10%となりました。

なお、データセンター事業以外の受注残高は好調に推移し、四半期での過去最高を更新しました。

業績 セグメント情報 エリア

- ✓ 売上高は、「キヤノン製品他」が微減となったものの、「ITソリューション」が堅調に推移したことにより、増収
- ✓ 営業利益は、エーアンドエーの株式譲渡に伴い荒利は減少したものの、人件費等の販管費の減少により、増益

(単位：億円)

	2Q実績 (4-6月)			累計実績 (1-6月)		
	2023年	2024年	対前年	2023年	2024年	対前年
キヤノン製品他	397	394	△1%	805	793	△2%
ITソリューション	170	177	+4%	360	376	+5%
売上高計	567	571	+1%	1,165	1,169	+0%
営業利益	42	44	+5%	89	96	+8%
利益率	7.4%	7.7%	+0.3%	7.6%	8.2%	+0.6%

※2024年より、「エリア」セグメントの一部販売チャネルの組織を、「コンシューマ」セグメントへ移管しております。これに伴い、各セグメント間で2023年実績の組替を行っております。

■ (ご参考) 主要関係会社実績
キヤノンシステムアンドサポート

	2Q実績		増減率	2Q累計実績		増減率
	2023年	2024年		2023年	2024年	
売上高	257	261	+2%	525	544	+4%
営業利益	12	12	+2%	30	34	+16%

12ページ目は、エリアセグメントのご説明です。

2024年5月1日に株式譲渡を行ったエーアンドエーは、エリアセグメントに属していました。株式譲渡に伴い、2024年5月以降はエーアンドエーの実績分が減少しております。

2Qの売上は、「キヤノン製品他」が微減となったものの、「ITソリューション」が堅調に推移したことにより、対前年1%増の571億円となりました。

営業利益は、エーアンドエーの株式譲渡に伴い荒利は減少したものの、人件費等の販管費の減少により、対前年2億円増加の44億円となりました。

(キヤノン製品他)

「キヤノン製品他」については、前年同期の製品供給の回復により、販売台数が大幅に増加した反動で、オフィスMFPの台数は減少しました。レーザープリンターは、前年同期に複数の大型案件があり、その剥落により、台数は減少しました。

オフィスMFPの保守サービスについては、オフィスにおけるプリントボリュームが減少したことにより、売上は微減となりました。レーザープリンターカートリッジについては、昨年2月に実施した仕入価格上昇に伴う価格改定の効果等により、売上は増加しました。

これらの結果、「キヤノン製品他」全体の売上は微減となりました。

(ITソリューション)

「ITソリューション」については、Windows 10の延長サポート終了に伴うビジネスPCの入れ替えが進んだことに加え、キヤノンシステムアンドサポートで、生産性向上に向けたデジタル化提案、法改正や税制改正に対応した提案、IT導入補助金の活用提案、等を引き続き推進したことにより、基幹業務ソフトの販売や「まかせてIT DXシリーズ」が順調に推移しました。

これらの結果、エーアンドエーの株式譲渡に伴う売上が減少したものの、「ITソリューション」全体の売上は、対前年プラス4%となりました。

【キヤノンシステムアンドサポート実績】

主要関係会社のキヤノンシステムアンドサポートの売上は、対前年2%増の261億円となりました。

営業利益は、先ほどご説明しました通り、ITソリューションが順調に推移したことにより、売上の増加に伴い荒利が増加し、対前年0.2億円増加の12億円となりました。

業績 セグメント情報 プロフェッショナル

- ✓ 売上高は、産業機器の増加により、増収
- ✓ 営業利益は、産業機器の増加に伴う荒利の増加により、増益

(単位：億円)

	2Q実績 (4-6月)			累計実績 (1-6月)		
	2023年	2024年	対前年	2023年	2024年	対前年
プロダクションプリンティング	25	23	△7%	46	46	△0%
産業機器	37	56	+51%	95	110	+16%
ヘルスケア	41	31	△25%	79	93	+18%
売上高計	102	109	+7%	220	249	+13%
営業利益	9	14	+52%	29	32	+11%
利益率	9.1%	13.0%	+3.9%	13.0%	12.7%	△0.3%

■ (ご参考) 主要関係会社実績

キヤノンプロダクションプリンティングシステムズ

	2Q実績		増減率	2Q累計実績		増減率
	2023年	2024年		2023年	2024年	
売上高	23	21	△9%	43	43	△1%
営業利益	2	1	△23%	2	2	△28%

13ページ目は、プロフェッショナルセグメントのご説明です。

2Qの売上は、産業機器の増加により、対前年7%増の109億円となりました。

営業利益は、産業機器の増加に伴う荒利の増加により、対前年5億円増加の14億円となりました。

(プロダクションプリンティング)

プロダクションプリンティングについては、前年同期にプリントマネジメントシステム案件があり、その剥落等により、売上は対前年マイナス7%となりました。

【キヤノンプロダクションプリンティングシステムズ実績】

主要関係会社のキヤノンプロダクションプリンティングシステムズの売上は、対前年9%減の21億円となりました。

営業利益は、対前年0.3億円減少の1億円となりました。

(産業機器)

産業機器については、半導体製造関連装置等の案件が増加したことにより、売上は対前年プラス51%となりました。

(ヘルスケア)

ヘルスケアについては、前年同期に複数の病院向け案件や診療所向けオンライン資格確認システム案件があり、その剥落により、売上は対前年マイナス25%となりました。

セグメント別 製品・サービス売上 第2四半期(4月～6月)

(単位：億円)

	コンシューマ		エンタープライズ		エリア		プロフェッショナル		その他		合計		構成比 2024年 2Q
	2023年 2Q	2024年 2Q	2023年 2Q	2024年 2Q	2023年 2Q	2024年 2Q	2023年 2Q	2024年 2Q	2023年 2Q	2024年 2Q	2023年 2Q	2024年 2Q	
SIサービス (対前年)	-	-	177	193	28	24	41	31	△6	△5	241	244	31%
保守・運用サービス /アウトソーシング (対前年)	-	-	100	125	26	28	4	3	△6	39	124	195	25%
ITプロダクト・システム販売 (対前年)	77	92	106	143	115	125	-	-	△11	△12	287	348	44%
ITソリューション合計 (対前年)	77	92	383	460	170	177	45	35	△23	23	651	787	100%
キヤノン製品他 (対前年)	260	248	145	145	397	394	58	75	△32	△31	828	830	
合計 (対前年)	337	340	529	606	567	571	102	109	△55	△9	1,480	1,617	

※「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、シェアードサービス事業、セグメント間取引消去を含んでおります。

※2024年より、「エリア」セグメントの一部販売チャネルの組織を、「コンシューマ」セグメントへ移管しております。これに伴い、各セグメント間で2023年実績の組替を行っております。

14ページ目は、セグメント別 製品・サービスの売上です。
ここでは、ITソリューションの2Qの実績についてご説明します。

「SIサービス」は、エリアセグメントでエーアンドエーの株式譲渡に伴う売上の減少や、プロフェッショナルセグメントのヘルスケアにおいて、前年同期に複数の病院向け案件があり、その剥落があったものの、エンタープライズセグメントにおいて、金融業向け及び製造業向けのSI案件が好調に推移したことにより、対前年プラス1%となりました。

「保守・運用サービス/アウトソーシング」は、エンタープライズセグメントにおいて、T C Sがグループ入りしたことに加え、クラウドサービスが順調に推移したことや、「その他」において、プリマジェストがグループ入りしたこと等により、対前年プラス58%となりました。

「ITプロダクト・システム販売」は、コンシューマセグメントにおいて高性能PCやPC周辺機器の販売が増加したことに加え、エンタープライズセグメント、エリアセグメントにおいて、PCの販売が増加したことにより、対前年プラス21%となりました。

これらの結果、グループITソリューション全体の売上は、対前年プラス21%となりました。

セグメント別 製品・サービス売上 第2四半期累計(1月～6月)

(単位：億円)

	コンシューマ		エンタープライズ		エリア		プロフェッショナル		その他		合計		構成比 2024年 1Q-2Q
	2023年 1Q-2Q	2024年 1Q-2Q	2023年 1Q-2Q	2024年 1Q-2Q	2023年 1Q-2Q	2024年 1Q-2Q	2023年 1Q-2Q	2024年 1Q-2Q	2023年 1Q-2Q	2024年 1Q-2Q	2023年 1Q-2Q	2024年 1Q-2Q	
SIサービス (対前年)	-	-	352	381	60	60	79	94	△12	△12	478	523	34%
保守・運用サービス /アウトソーシング (対前年)	-	-	217	270	53	57	7	7	△13	33	264	366	24%
ITプロダクト・システム販売 (対前年)	151	175	214	249	247	259	-	-	△8	△25	604	658	42%
ITソリューション合計 (対前年)	151	175	783	900	360	376	86	100	△33	△4	1,346	1,547	100%
キヤノン製品他 (対前年)	512	466	292	296	805	793	134	148	△62	△61	1,682	1,642	
合計 (対前年)	663	641	1,075	1,196	1,165	1,169	220	249	△95	△65	3,028	3,189	+5%

※「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、シェアードサービス事業、セグメント間取引消去を含んでおります。

※2024年より、「エリア」セグメントの一部販売チャネルの組織を、「コンシューマ」セグメントへ移管しております。これに伴い、各セグメント間で2023年実績の組替を行っております。

15ページ目は、第2四半期累計のセグメント別 製品・サービスの売上です。

「SIサービス」、「ITプロダクト・システム販売」が順調に推移したことに加え、TCSやプリマジェストがグループ入りしたこと等により、「保守・運用サービス/アウトソーシング」が好調に推移し、グループITソリューション全体の売上は対前年プラス15%となりました。

業績予想サマリー

(単位：億円)

	2024年 年間 前回予想	2024年 年間 今回予想	増減		2023年 年間 実績	増減	
			金額	率		金額	率
売上高	6,450	6,500	+50	+1%	6,095	+405	+7%
営業利益	(8.4%) 540	(8.3%) 540	(△0.1%) -	-	(8.6%) 525	(△0.3%) +15	+3%
経常利益	(8.5%) 550	(8.5%) 550	(△0.1%) -	-	(8.8%) 536	(△0.3%) +14	+3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	(5.8%) 375	(5.8%) 375	(△0.0%) -	-	(6.0%) 365	(△0.2%) +10	+3%

16ページ目は、業績予想サマリーです。

今年の上半期は増収減益になりましたが、売上・利益ともに計画以上に進捗しました。

3Q以降についても、企業の積極的なIT投資を中心とした設備投資が増加する等、国内の景気は緩やかな回復が続くことが見込まれます。

当社では、引き続き、キヤノン製品事業の更なる収益性の強化を図るとともに、成長事業と位置づけるITソリューション事業の収益性向上を伴った売上の拡大を図ることで、年間では増収増益を目指します。

このような状況の中、エンタープライズセグメントで文教向けPCの大型案件を獲得したこと等により、「ITプロダクト・システム販売」が計画を上回って推移しており、売上を50億円上方修正致しました。

今回の修正により、長期経営構想の2025年の目標として掲げている売上6,500億円、そのうちITソリューション売上3,000億円を1年前倒しで達成する見通しです。

営業利益については、プリマジェストののれんの償却費用等で、一部未確定な部分がありますが、4期連続の最高益更新を目指すことに変わりありません。

業績予想 セグメント概要 前回予想比較

(単位：億円)

	2024年 年間 前回予想		2024年 年間 今回予想		前回予想比較		
	売上	営業利益	売上	営業利益	売上		営業利益
					金額	率	
コンシューマ	1,393	137	1,393	137	-	-	-
エンタープライズ	2,312	205	2,362	205	+50	+2%	-
エリア	2,350	183	2,350	183	-	-	-
プロフェッショナル	440	41	440	41	-	-	-
その他	△45	△26	△45	△26	-	-	-
合計	6,450	540	6,500	540	+50	+1%	-

※「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、シェアードサービス事業、セグメント間取引消去を含んでおります。

17ページ目は、セグメント別の業績予想です。

先ほどのご説明の通り、エンタープライズセグメントで「ITプロダクト・システム販売」が当初の計画を上回って推移していることから、売上を50億円上方修正しております。

業績予想 セグメント概要 前年比較

(単位：億円)

	2023年 年間 実績		2024年 年間 予想		前年比較		
	売上	営業利益	売上	営業利益	売上		営業利益
					金額	率	
コンシューマ	1,389	141	1,393	137	+4	+0%	△4
エンタープライズ	2,203	197	2,362	205	+159	+7%	+8
エリア	2,297	175	2,350	183	+53	+2%	+8
プロフェッショナル	402	36	440	41	+38	+9%	+5
その他	△197	△24	△45	△26	+152	-	△2
合計	6,095	525	6,500	540	+405	+7%	+15

※「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、シェアードサービス事業、セグメント間取引消去を含んでおります。

※2024年より、「エリア」セグメントの一部販売チャネルの組織を、「コンシューマ」セグメントへ移行しております。これに伴い、各セグメント間で2023年実績の組替を行っております。

18ページ目は、セグメント別業績予想の前年比較です。

コンシューマセグメントは、上期にITプロダクトが好調だったことに加え、下期に発売を控えております新製品のレンズ交換式デジタルカメラの売上を伸ばすこと等により、増収を見込んでおります。一方で、上期にレンズ交換式デジタルカメラやインクジェットプリンターの売上減少に伴う荒利の減少があったことや、IT費用、広告宣伝費等の販管費の増加により、減益を見込んでおります。

エンタープライズセグメント、エリアセグメント、プロフェッショナルセグメントは増収増益を見込んでおります。

業績予想 セグメント概要

(単位：億円)

	2023年				2024年				増減			
	1Q-2Q (実績)		3Q-4Q (実績)		1Q-2Q (実績)		3Q-4Q (計画)		1Q-2Q		3Q-4Q	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
コンシューマ	663	66	726	75	641	52	752	85	△22	△14	+26	+10
エンタープライズ	1,075	99	1,128	98	1,196	100	1,166	105	+121	+1	+38	+7
エリア	1,165	89	1,132	86	1,169	96	1,181	87	+4	+7	+49	+1
プロフェッショナル	220	29	183	8	249	32	191	9	+29	+3	+9	+2
その他	△95	△11	△102	△13	△65	△19	20	△7	+29	△8	+123	+6
合計	3,028	271	3,067	254	3,189	260	3,311	280	+161	△11	+244	+26

※「その他」には、セグメント間取引消去とシェアードサービス事業、各セグメントに配分していない全社費用等が含まれます。

※2024年より、「エリア」セグメントの一部販売チャネルの組織を、「コンシューマ」セグメントへ移管しております。これに伴い、各セグメント間で2023年実績の組替を行っております。

19ページ目は、セグメント別の上期の実績及び下期の業績予想の対前年比較です。

セグメントごとの詳細については、この後ご説明致します。

(単位：億円)

■ コンシューマ

- ✓ 売上高は、レンズ交換式デジタルカメラやITプロダクトが順調に推移し、増収を見込む
- ✓ 営業利益は、売上増に伴う荒利の増加により、増益を見込む

2023年				2024年				増減			
1Q-2Q (実績)		3Q-4Q (実績)		1Q-2Q (実績)		3Q-4Q (計画)		1Q-2Q		3Q-4Q	
売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
663	66	726	75	641	52	752	85	△22	△14	+26	+10

※2024年より、「エリア」セグメントの一部販売チャネルの組織を、「コンシューマ」セグメントへ移管しております。これに伴い、各セグメント間で2023年実績の組替を行っております。

■ エンタープライズ

- ✓ 売上高は、「キヤノン製品他」が減少するものの、「ITソリューション」が好調に推移することにより増収を見込む
- ✓ 営業利益は、売上増加に伴う荒利の増加により、増益を見込む

2023年				2024年				増減			
1Q-2Q (実績)		3Q-4Q (実績)		1Q-2Q (実績)		3Q-4Q (計画)		1Q-2Q		3Q-4Q	
売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
1,075	99	1,128	98	1,196	100	1,166	105	+121	+1	+38	+7

20ページ目は、業績予想をセグメントごとに説明致します。

まずは、コンシューマセグメントです。

3Q以降は、増収増益を見込んでおります。

売上は、4%増の752億円を見込んでおります。営業利益は、売上増加に伴う荒利の増加により、対前年10億円増の85億円を見込んでおります。

レンズ交換式カメラについては、ミドルクラスの「EOS R5 Mark II」を8月に、フラッグシップモデルの「EOS R1」を11月に発売することを、先日発表致しました。これらの新製品をはじめとするEOS Rシリーズの販売が増加することに加え、ミラーレスカメラへの移行が更に進むことにより、RFレンズの販売が進み、売上は好調に推移する見込みです。インクジェットプリンター及びインクカートリッジについては、市場の縮小に伴い、売上は減少する見込みです。インクジェットプリンターに加え、レーザープリンター等、お客さまのニーズに寄り添った高付加価値製品の提案に注力し、収益性の維持に取り組んで参ります。ITプロダクトについては、売上は増加する見込みです。

次に、エンタープライズセグメントです。

3Q以降は、増収増益を見込んでおります。

売上は、対前年3%増の1,166億円を見込んでおります。営業利益は、売上増加に伴う荒利の増加により、対前年7億円増の105億円を見込んでおります。

「キヤノン製品他」については、大手企業において、拠点統廃合に伴う機器の集約やオフィスにおけるプリントボリューム減少が想定されるものの、準大手・中堅企業のお客さまにおいて、業務プロセスの改革提案を更に強化し、入出力機器を含めたシステム導入案件を増加させることで、収益性の向上に取り組んで参ります。

「ITソリューション」については、前年同期に大型のIT基盤案件の獲得があり、その剥落があるものの、製造業向けSI案件やEdgeソリューションの映像ソリューション、デジタルドキュメントサービス等が好調に推移することに加え、昨年10月のT C Sのグループ入りの影響により、売上は大幅に増加する見込みです。

■ エリア

(単位：億円)

- ✓ 売上高は、「ITソリューション」が好調に推移することにより、増収を見込む
- ✓ 営業利益は、売上増加に伴う荒利の増加により、増益を見込む

2023年				2024年				増減			
1Q-2Q (実績)		3Q-4Q (実績)		1Q-2Q (実績)		3Q-4Q (計画)		1Q-2Q		3Q-4Q	
売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
1,165	89	1,132	86	1,169	96	1,181	87	+4	+7	+49	+1

※2024年より、「エリア」セグメントの一部販売チャネルの組織を、「コンスーマ」セグメントへ移管しております。これに伴い、各セグメント間で2023年実績の組替を行っております。

■ プロフェッショナル

- ✓ 売上高は、全サブセグメントにおいて売上が増加することにより、増収を見込む
- ✓ 営業利益は、売上増加に伴う荒利の増加により、増益を見込む

2023年				2024年				増減			
1Q-2Q (実績)		3Q-4Q (実績)		1Q-2Q (実績)		3Q-4Q (計画)		1Q-2Q		3Q-4Q	
売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
220	29	183	8	249	32	191	9	+29	+3	+9	+2

次に、エリアセグメントです。
3Q以降は、増収増益を見込んでおります。

売上は対前年4%増の1,181億円、営業利益は売上増加に伴う荒利の増加により、対前年1億円増の87億円を見込んでおります。

「キヤノン製品他」については、使用期間が長期化しているお客さまの機器の入れ替えや、法改正や税制改正に対応した提案活動を積極的に推進することで、売上は増加する見込みです。

「ITソリューション」については、Windows 10サポート終了に伴いビジネスPCの販売が順調に推移することや、キヤノンシステムアンドサポートで、中小企業のIT環境をトータルで支援する「まかせてIT DXシリーズ」が引き続き順調に推移することに加え、キヤノンマーケティングジャパンで、ウイルス対策ソフト「ESET」やIT支援クラウドサービス「HOME」等が順調に推移することにより、売上は大幅に増加する見込みです。

次に、プロフェッショナルセグメントです。
3Q以降は、増収増益を見込んでおります。

売上は、全サブセグメントにおいて売上が増加することにより、対前年5%増の191億円を見込んでおります。営業利益は、売上増加に伴う荒利の増加により、対前年2億円増の9億円を見込んでおります。

プロダクションプリンティングについては、高速プリンター本体やPOPビジネス等が順調に推移することにより、売上は大幅に増加する見込みです。

産業機器については、市場により好不調が別れているものの、パワー半導体市場において底堅い需要が継続しており、半導体製造関連装置が堅調に推移することにより、売上は微増となる見込みです。

ヘルスケアについては、昨年事業移管を受けたキヤノンメディカルシステムズとの統合の効果や、病院向け案件が堅調に推移することにより、売上は増加する見込みです。

【補足資料】主要製品売上・台数

【補足資料】2024年2Q主要製品売上・台数

キヤノンマーケティングジャパン株式会社

キヤノン製品他

単位：百万円

前年増減率

	2023年				2024年				前年増減率
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	
売上高	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	
台数	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	

当社ホームページに掲載されております
「2024年12月期第2四半期 補足資料 PDF」を
ご覧ください。

	2023年				2024年				前年増減率
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	
プロダクションプリンティング	(台数)	+28%	+29%	+15%	+2%	+8%	+23%	+14%	+1%
イメージングデバイス	(台数)	+20%	+12%	+13%	+13%	+30%	+8%	+4%	+2%
イメージングデバイス-ネットワーク	(台数)	+6%	+3%	+2%	+7%	+5%	+8%	+6%	+7%

・掲載URL
<https://corporate.canon.jp/ir>
(当社トップページ>企業情報>投資家向け情報>IR資料>決算説明会資料)

単位

前年増減率

	2023年				2024年				前年増減率
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	
売上高	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	
台数	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	

単位

前年増減率

	2023年				2024年				前年増減率
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	
売上高	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	
台数	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	

単位

前年増減率

	2023年				2024年				前年増減率
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	
売上高	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	
台数	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	

単位

前年増減率

	2023年				2024年				前年増減率
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	
売上高	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	
台数	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	

単位

前年増減率

	2023年				2024年				前年増減率
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	
売上高	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	
台数	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	

単位

前年増減率

	2023年				2024年				前年増減率
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	
売上高	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	
台数	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	

単位

前年増減率

	2023年				2024年				前年増減率
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	
売上高	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	
台数	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	

単位

前年増減率

	2023年				2024年				前年増減率
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	
売上高	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	
台数	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	

単位

前年増減率

	2023年				2024年				前年増減率
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	
売上高	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	
台数	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	

単位

前年増減率

	2023年				2024年				前年増減率
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	
売上高	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	
台数	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	

単位

前年増減率

	2023年				2024年				前年増減率
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	
売上高	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	
台数	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	

単位

前年増減率

	2023年				2024年				前年増減率
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	
売上高	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	
台数	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	

単位

前年増減率

	2023年				2024年				前年増減率
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	
売上高	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	
台数	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	

単位

前年増減率

	2023年				2024年				前年増減率
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	
売上高	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	
台数	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	

単位

前年増減率

	2023年				2024年				前年増減率
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	
売上高	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	
台数	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	

単位

前年増減率

	2023年				2024年				前年増減率
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	
売上高	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	
台数	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	

単位

前年増減率

	2023年				2024年				前年増減率
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	
売上高	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	
台数	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	

単位

前年増減率

	2023年				2024年				前年増減率
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	
売上高	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	
台数	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	

単位

前年増減率

	2023年				2024年				前年増減率
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	
売上高	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	
台数	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	

単位

前年増減率

22ページ目は、補足資料として掲載しております「主要製品売上・台数」表についてご説明致します。
ホームページに掲載されておりますので、お手元にご用意いただければと思います。

2Qの実績については、セグメント情報でお伝えしている通りです。
ここでは、セグメント情報でお伝えしていない、「商業印刷」「ネットワークカメラ」の実績についてご説明致します。

まずは、「商業印刷」です。
「キヤノン製品他」の一番下の行に、プロフェッショナルセグメントのプロダクションプリンティングに、他セグメントの売上となっているプロダクションプリンティングビジネスを加えたグループ全体の「商業印刷」の増減を記載しております。
「商業印刷」は、imagePRESS C265をはじめとするプロダクションカット紙プリンターの売上が増加したものの、前年同期にプリントマネジメントシステム案件があり、その剥落により、対前年マイナス2%となりました。

次に、「ネットワークカメラ」です。
「ネットワークカメラ」は、防犯や省人化のニーズが高まっており、エンタープライズセグメントでは、クラウド録画サービス案件を獲得したこと等により、順調に推移しました。エリアセグメントでは、前年同期に公共向けの大型インフラ案件があり、その剥落があったものの、中小企業向けクラウド型録画サービス「VisualStage」等が堅調に推移しました。これらの結果、対前年プラス1%となりました。

続いて、2024年の見通しについて、前回公表値からの変更箇所をご説明致します。

「ITプロダクト・システム販売」は、主にエンタープライズセグメントにおいて文教向けPCの大型案件を獲得したこと等により、見通しをプラス2%からプラス7%に変更致しました。

他の製品・サービスについては、変更ございません。

2024年第2四半期決算と業績予想に関するご説明は以上となります。
この後、大里から自己株式の公開買付についてご説明をさせていただきます。

本日開催の取締役会において、自己株式の公開買付けを行うことを決議しました。

公開買付けの概要

- ・総数 : 22,000,000株 ※発行済株式総数の16.78%
- ・取得価額の総額 : 約900億円
- ・買付け等の期間 : 2024年7月25日～2024年8月22日（20営業日）
- ・買付け等の価格 : 普通株式1株につき、4,091円

※うち20,000,000株については、キヤノン株式会社と応募契約を締結しています。

※キヤノン株式会社から取得した自己株式については、2024年9月末までに消却することを予定しています。

私から、本日の取締役会において決議しました自己株式の公開買付けについてご説明致します。

この度、2千2百万株の自己株式の取得、公開買付を行うことを決議致しました。
これは発行済み株式総数の16.78%にあたります。

このうち2千万株については、キヤノン株式会社と応募契約を締結しており、
キヤノン株式会社から取得した自己株式については、
2024年9月末までに消却することを予定しております。

当社では従前より、資本効率の向上と株主還元の充実について検討を重ねておりました。
この度、流通株式比率の向上と、株主資本の圧縮によるROE及びPBR等の資本効率の向上、
並びにEPS等の収益性の向上を図るため、本決定に至りました。

今後も資本市場との対話を重視し、投資家の皆さまにとって魅力的な企業となれるよう取り組むことで、
応援して下さる株主の皆さまの拡大を図ってまいります。
引き続き、キヤノンマーケティングジャパンの企業価値向上に向けた取り組みにご注目いただければ幸いです。

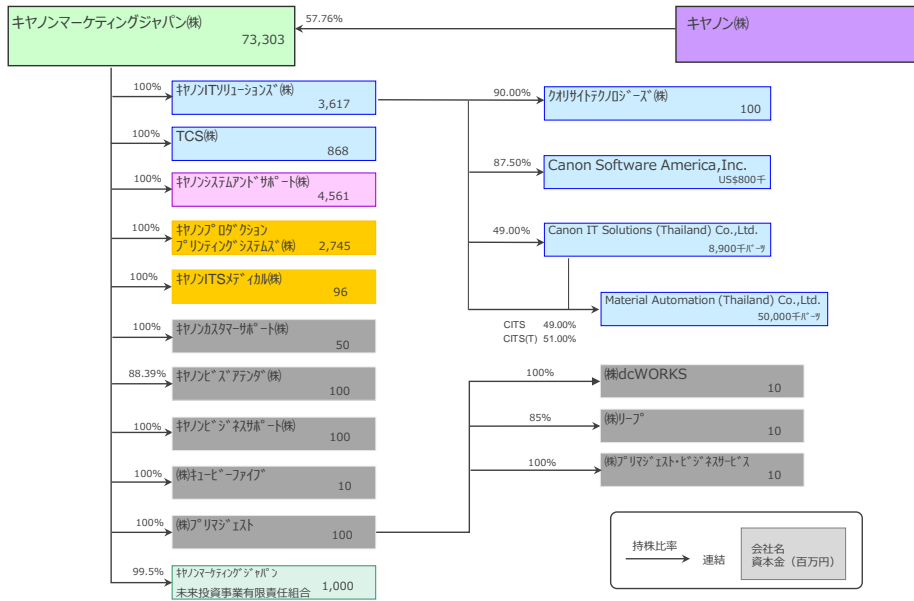
Canon

キヤノンマーケティングジャパングループ

本日のご説明は以上となります。
ありがとうございました。

參考資料

関係会社出資関係図



2024.06.30 現在

販管費の内訳 第2四半期(4月～6月)

(単位：億円)

	2023年 2Q	2024年 2Q	増減
広告宣伝費	11	9	△2
販売促進費	7	8	+1
保証費	7	7	△1
その他直接費	44	47	+3
人件費	233	233	△0
拠点費用	21	20	△1
IT費用	23	27	+4
のれん等償却費	0	9	+9
その他販売費	33	39	+6
合計	380	399	+19

販管費の内訳 第2四半期累計(1月~6月)

(単位：億円)

	2023年 1Q-2Q	2024年 1Q-2Q	増減
広告宣伝費	21	19	△2
販売促進費	15	14	△1
保証費	15	14	△1
その他直接費	87	90	+3
人件費	460	456	△4
拠点費用	41	39	△1
IT費用	45	55	+9
のれん等償却費	1	11	+10
その他販売費	64	76	+12
合計	749	774	+25

営業外収支の内訳

Canon

キヤノンマーケティングジャパングループ

(単位：億円)

	2023年 2Q	2024年 2Q	増減	2023年 1Q-2Q	2024年 1Q-2Q	増減
受取利息	1	1	+0	2	2	+0
受取配当金	1	1	+0	1	2	+0
受取保険金	4	4	+0	5	4	△0
為替差益	△0	1	+1	-	2	+2
投資事業組合運用益	-	0	+0	-	0	+0
その他	1	1	+0	1	1	+0
営業外収益 計	7	9	+2	9	12	+3
支払利息	0	0	+0	0	0	+0
投資事業組合管理費用	-	1	+1	-	1	+1
為替差損	0	-	△0	0	-	△0
投資事業組合運用損	△0	△0	△0	0	-	△0
その他	0	0	+0	1	1	+0
営業外費用 計	1	1	+0	1	2	+1

特別損益の内訳

(単位：億円)

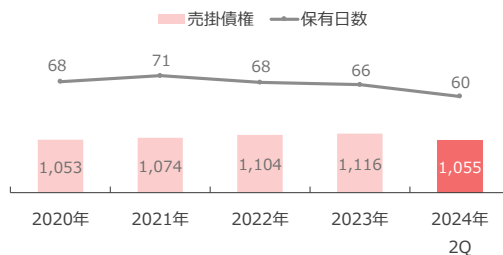
	2023年 2Q	2024年 2Q	増減	2023年 1Q-2Q	2024年 1Q-2Q	増減
固定資産売却益	0	0	△0	0	0	△0
関係会社株式売却益	-	29	+29	-	29	+29
投資有価証券売却益	1	-	△1	1	-	△1
その他	-	0	+0	-	0	+0
特別利益 計	1	29	+29	1	29	+29
固定資産除売却損	3	1	△3	4	1	△3
関係会社株式売却損	-	-	-	2	-	△2
その他	0	△0	△0	0	0	△0
特別損失 計	3	1	△3	5	1	△4

貸借対照表

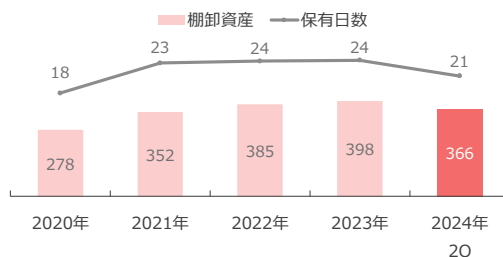
	2023年 12月	2024年 6月	増減
資産	5,574	5,758	+185
流動資産	4,186	4,002	△185
金融資産	897	1,168	+271
売掛債権	1,116	1,055	△62
棚卸資産	398	366	△32
その他	1,774	1,412	△362
固定資産	1,388	1,757	+369
有形固定資産	850	873	+23
無形固定資産	142	495	+354
投資その他	395	388	△7
負債	1,219	1,289	+71
流動負債	1,106	1,154	+48
買掛債務	456	448	△7
その他	650	706	+55
固定負債	113	135	+23
純資産	4,355	4,469	+114
株主資本	4,108	4,219	+111
(自己株式)	△21	△21	+0
その他の包括利益累計額	239	242	+3
新株予約権	1	1	+0
非支配株主持分	7	8	+1
株主資本比率	78%	77%	△1%

■ 売掛債権

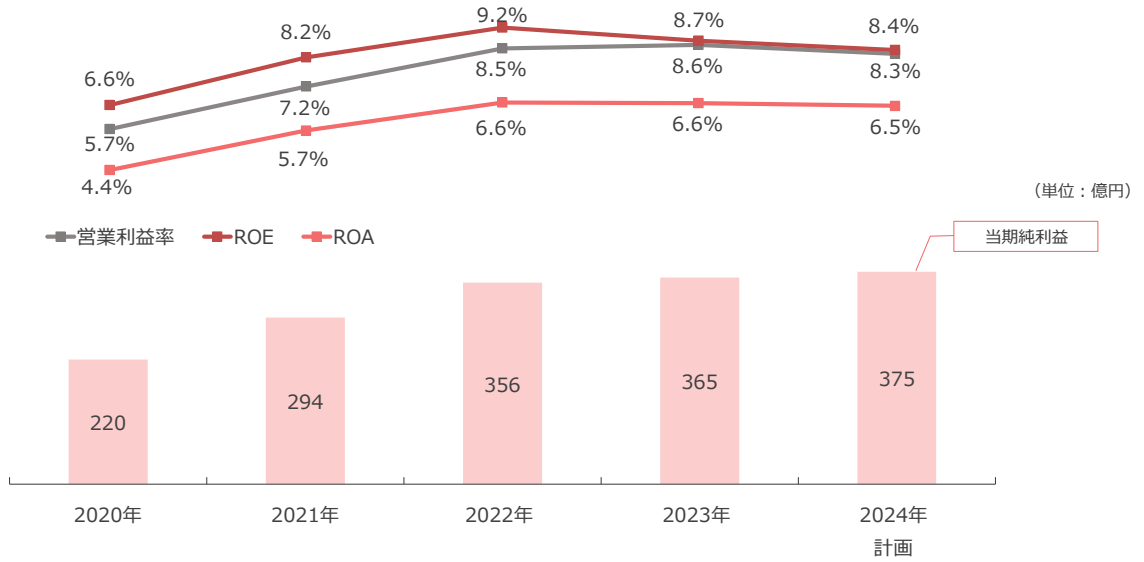
(単位：億円)



■ 棚卸資産



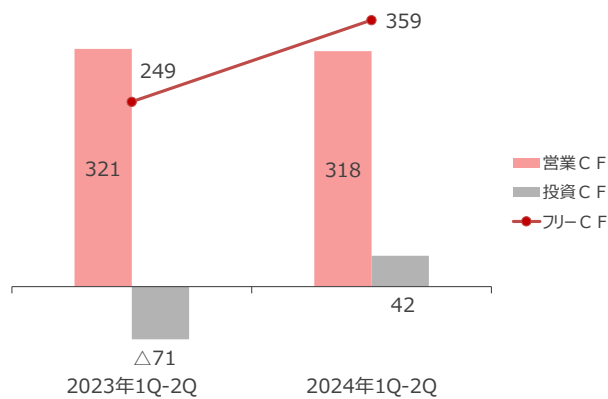
財務指標推移 営業利益率／ROA／ROE



キャッシュ・フロー／設備投資／減価償却

(単位：億円)

■ キャッシュ・フロー



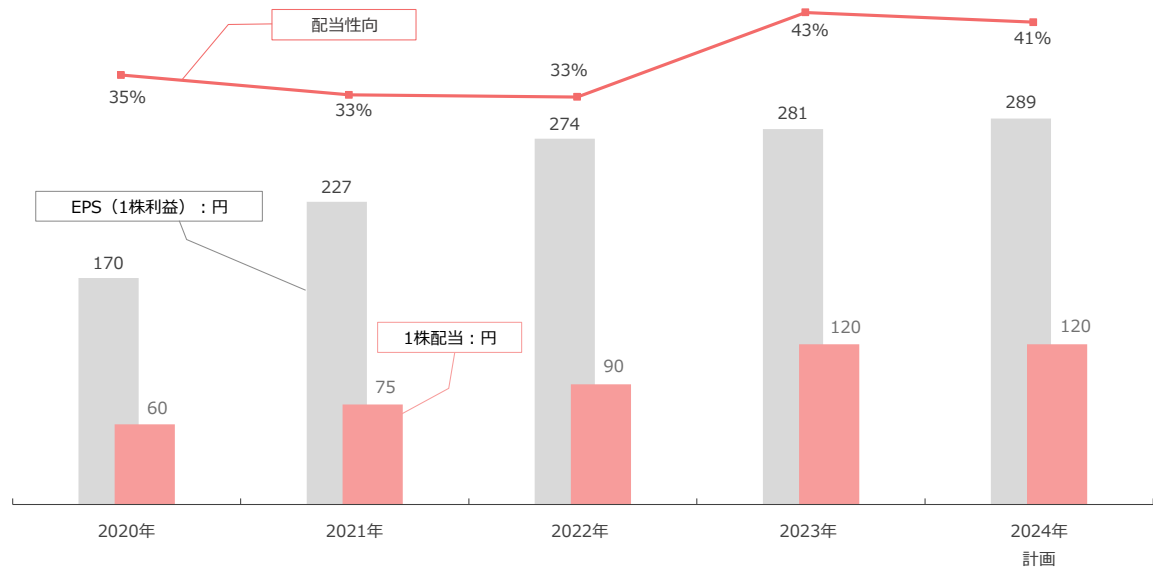
■ 設備投資

	1Q-2Q 実績	3Q-4Q 計画	年間
2023年 実績	49	45	94
2024年 計画	59	79	139

■ 減価償却

	1Q-2Q 実績	3Q-4Q 計画	年間
2023年 実績	48	49	97
2024年 計画	50	52	102

財務指標推移 配当性向／EPS／配当



セグメント別売上構成（2023年度）

4 プロフェッショナル 

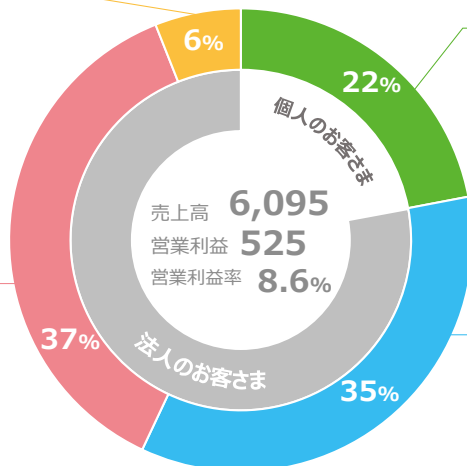
専門領域のお客さま
プロダクションプリンティング / 産業機器 / ヘルスケア

売上高	営業利益
402	36 (9.0%)

3 エリア 

全国の中小企業のお客さま

売上高	営業利益
2,297	175 (7.6%)



1 コンシューマ 

個人のお客さま

売上高	営業利益
1,389	141 (10.2%)

2 エンタープライズ 

大手、準大手・中堅企業のお客さま

売上高	営業利益
2,203	197 (8.9%)

※2024年より、「エリア」セグメントの一部販売チャネルの組織を、「コンシューマ」セグメントへ移管しています。これに伴い、各セグメント間で2023年実績の組替を行っています。 ※売上構成比率は各セグメント別売上高の単純合計額をもとに算出しています。
※上記以外に、セグメント間取引消去とシェアードサービス事業、各セグメントに配分していない全社費用等として、その他売上△197億円、その他営業利益△24億円があります。

1 コンシューマ

キヤノンの祖業であるカメラをはじめとするイメージング製品群・インクジェットプリンター等のキヤノン製品とキヤノンブランド以外のコンシューマユース向けプロダクトを、量販店やオンラインショップ等を通じて個人・法人のお客さまに販売しています。

カメラ事業



インクジェットプリンター事業



趣味、写真、在宅勤務

ITプロダクト事業



高性能PC

eスポーツ等に使用

2 エンタープライズ

大手企業、準大手・中堅企業のお客さま向けに、業種・業態ごとに異なる経営課題を解決するためのキヤノン製品やITソリューションを直接販売しています。大手企業にはMA事業部、準大手・中堅企業にはGBソリューション事業部、キヤノンITソリューションズがその両方を担当しています。

大手企業

MA事業部
(キヤノンマーケティングジャパン株式会社)

準大手・
中堅企業

GBソリューション事業部
(キヤノンマーケティングジャパン株式会社)

キヤノンITソリューションズ株式会社

2003年 住友金属システムソリューションズを子会社化

2007年 アルゴ21を子会社化

2008年 キヤノンITソリューションズ 発足

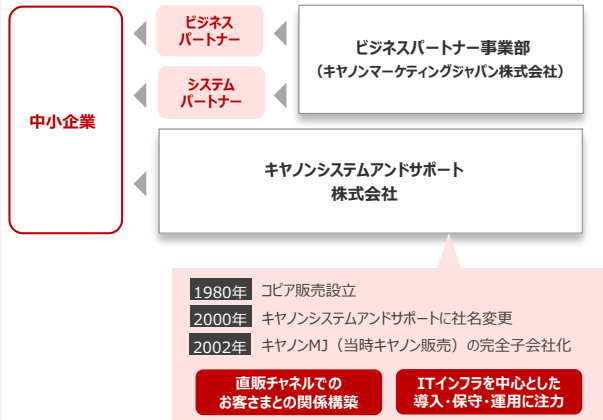


金融業・製造業に強み

データセンターを運営

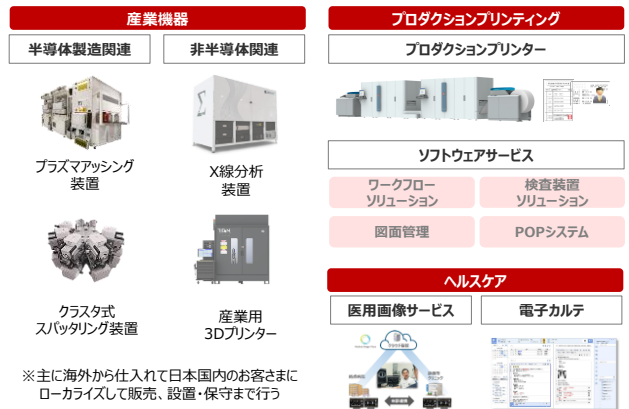
3 エリア

ビジネスパートナー、システムパートナーによる**間接販売**、キヤノンシステムアンドサポートによる**直接販売**からなる多様なチャネルを最大限に活かし、日本全国の**中小企業のお客さま**向けに、キヤノン製品やITソリューションを提供しています。



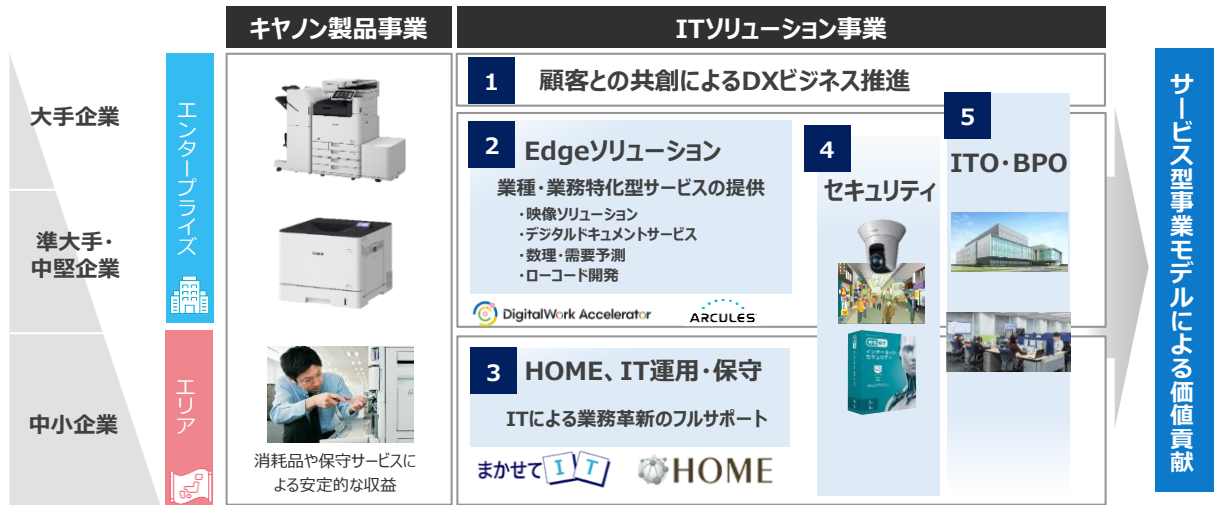
4 プロフェSSIONAL

プロダクションプリンティング、産業機器、ヘルスケアといった、**各専門領域のお客さま**を対象とした製品やソリューションを提供しています。



エンタープライズセグメント・エリアセグメント

エンタープライズセグメント、エリアセグメントはそれぞれキヤノン製品及びITソリューションを取り扱いますが、お客さまの規模が異なります。



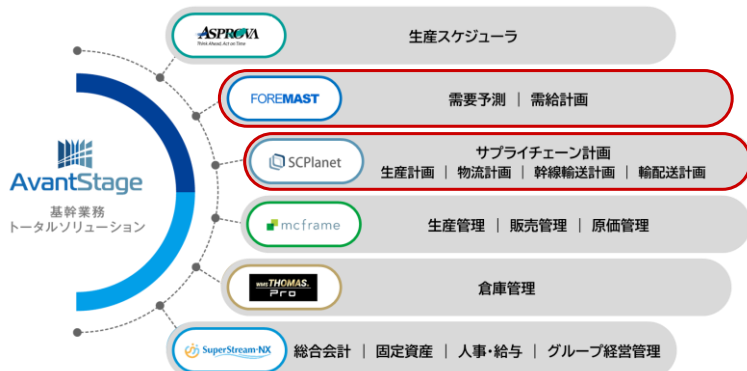
社会課題

物流の2024年問題
フードロス削減



数理技術を活用した
SCM/ERP 基幹業務トータルソリューションの提供

※ SCM…サプライチェーン・マネジメント
ERP…エンタープライズ・リソース・プランニング



AvantStage導入企業様例

- 味の素株式会社様
- 株式会社アルビオン様
- エレコム株式会社様
- サッポロホールディングス株式会社様
- マルハニチロ株式会社様
- 三菱樹脂株式会社様

※ソリューション群から、各社最適なものを選択してご導入

詳しくはこちら ▶ <https://www.canon-its.co.jp/solution/erp/>

<https://www.canon-its.co.jp/solution/scm/>



お困りごと IT専任人材の不足



生産性向上やセキュリティ対策に最適な
ICTの選定・導入・運用・保守・教育をトータルで支援

まかせて **IT DXシリーズ**



社外からの評価・指数への選定

ESG・インデックス

人的資本

FTSE4Good Indexに
選定



FTSE4Good

FTSE Blossom Japan
Indexに選定



FTSE Blossom
Japan
Index

FTSE Blossom Japan Sector
Relative Indexに選定



FTSE Blossom
Japan Sector
Relative Index

えるぼし認定（2つ星）



厚生労働省

健康経営銘柄



経済産業省・東京証券取引所

MSCIジャパンESGセレクト・
リーダーズ指数に選定

2023 CONSTITUENT MSCIジャパン
ESGセレクト・リーダーズ指数

S&P/JPXカーボン・
エフィシエント指数に選定



SUSTAINA ESG AWARDS
2023 ゴールドクラスに選定



プラチナくるみん認定



厚生労働省

第7回 日経スマートワーク
経営調査 4.5星に選定



Morningstar
日本株式ジェンダー・ダイバー
シティ・ティルト指数に選定
(GEグループ3)

SOMPOサステナビリティ・
インデックスに選定



Sompo Sustainability Index

Gomez ESGサイトランキング
優秀企業に入賞



JPX日経インデックス400に
選定



JPX-NIKKEI 400

「DX検定™」シリーズにおいて
IFSJ イノベーションアワード
「企業優秀賞」「優秀賞」を受賞



(注) THE INCLUSION OF Canon Marketing Japan Inc. IN ANY MSCI INDEX, AND THE USE OF MSCI LOGOS, TRADEMARKS, SERVICE MARKS OR INDEX NAMES HEREIN, DO NOT CONSTITUTE A SPONSORSHIP, ENDORSEMENT OR PROMOTION OF Canon Marketing Japan Inc. BY MSCI OR ANY OF ITS AFFILIATES. THE MSCI INDEXES ARE THE EXCLUSIVE PROPERTY OF MSCI. MSCI AND THE MSCI INDEX NAMES AND LOGOS ARE TRADEMARKS OR SERVICE MARKS OF MSCI OR ITS AFFILIATES.

Canon

キヤノンマーケティングジャパングループ